

令和 2 年度 県立石岡第二高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・目標に対し具体的な方策の評価が良く、妥当である。 ・生徒達の育成のため常に工夫苦勞されているご努力をしっかりと受け止めました。ましてこの一年間はコロナ禍にあって、制限された中での教育活動はどれほどか大変だったでしょう、感謝いたします。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・A 評価・B 評価が多く自己評価として妥当である。 ・達成状況における評価も B と、課題を認識された中で適切なものとなっていると考えます。 ・画像を使った「世界史 A」は解りやすく面白く見学いたしました。 ・コロナ禍で計画通り教育活動が出来ない中、学校の整備環境、学習指導、進路指導、特別活動など、特色ある教育活動が展開されたと思います。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	・コロナ禍の中、それぞれの部で課題を持って工夫しながら取り組もうとしていて良い。 ・見てだけの授業ではなく、生徒が記録する時間も、先生は言葉も加えて作っていたことも、対面感があって良いと感じました。プラス、先生方の負担が多くなることも脳裏に浮かびました。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・次年度を見据えて取り組んでいる。 ・PDCA のさらなる充実に向け、今後の対応についても期待しています。 ・4 月からはタブレット授業が計画されていますが、今後の生徒達の理解度はどうなるか、興味も引きました。ありがとうございました。 ・学校評価が適切に実施され、生徒、保護者、教職員からの客観的な評価をもとに課題を明確にされ、目標が立てられていると思います。
5. 学校の活動が地域社会と連携しているか。指標として、学校の活動が地域住民に知られているか。	A 適切である ☒ B 概ね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・HP への更なる取り組み、ICT 機材の整備、地域中学校への働きかけなど、課題を持って取り組んでいる。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。